

2023 年 3 月 13 日

## 2023 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は学参関係に動きが見られ一部には価格修正前の駆込み需要も見られたが、全体的には低調で仕事量の減少もあり前年を下回った。

巻取は学参、生損保、チラシ関連に大口物件があまり見られず前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 92.0% 巻取 81.2%）

再生紙平判は入札案件の受注減少が続いている上、在庫不足や再生紙離れの定着により前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 59.9% 再生上質巻取 285.2% 再生上質計 110.0%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 89.9%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 75.8%）

### <A2 コート>

平判は引き続きインバウンドや全国旅行支援の効果により、旅行関連、レジャーにおいてパンフレットやチラシの動きがあった。また、イベント増加に伴うパンフレット、チラシにも動きがみられ、グロス、マット共に前年を上回った。

巻取はスーパー、ドラッグストア、デリバリーの流通サービス業の定期チラシやスポットの動きがあった。

一方、金融、教育関連は鈍い状況が続いている。また、雑誌においてのページ数及び部数の減少が続いており、グロス、マット共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 105.8% 巻取 79.6% 全体 97.7%）

（2019 年比 A2 コート計 74.1%）

### <A3 コート>

スーパー、量販店、ドラッグストアの定期チラシ案件、イベントのスポットチラシ案件で動きがみられたが、平判、巻取共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 89.3% 巻取 86.2% 全体 87.1%）

（2019 年比 A3 コート計 64.6%）

### <ノーカーボン紙>

巻取は大口案件の web 化に伴う案件消滅の影響が大きい。

平判は手書き帳票を中心に価格修正前の細かな動きはあるものの特需的な動きもなく、巻平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 89.5% 巻取 76.8%）

#### <上質フォーム>

地方自治体や官公庁の納付書の動きが本格化して荷動きは活況だった。電力会社の料金改定案内のスポットもあり前年を大幅に上回った。

(前年比 108.7%)

#### <包装用紙>

特殊両更は役所向け、一般企業向け封筒の動きが全く振るわず前年を大幅に下回った。

(前年比 80.0%)

軽包装は価格修正による仮需の反動で1月に引続き前年を大きく下回った。

(前年比 70.3%)

片艶晒は全般的に動きが低調なのに加えて供給面でも安定さを欠き前年を大きく下回った。

(前年比 61.2%)

両更晒は金融機関向けの封筒で一部動きがあったものの、その他の分野で動きが見られず前年を大きく下回った。

(前年比 85.4%)

純白ロールは人流の回復により土産物の包装紙が動いた。また、お彼岸向け和菓子類の包装紙にも動きが見られ前年を大きく上回った。

(前年比 131.0%)

包装紙全体では87.2%と前年を下回った。

#### <板紙>

コートボールはインバウンドや人流の回復で土産物は堅調であった。一方、菓子、食品は物価高騰の影響を受けて在庫調整が入り低調であった。

特板はテイクアウト向けで前年ほどの勢いはないが、一定の需要はあり落ち着いている。

高板は一部トレーディングカードや化粧品で動きがあった。チップはパッケージ、貼り箱用途がともに低調であった。厚物より薄物の方がエンタメ系をはじめ比較的動きがあった。

全体としては前年を上回った。

(前年比 110.6%)